

ま え が き

この報告書は、特定研究「情報システムの形成過程と学術情報の組織化」のC-7班「原子核学術情報システム」において昭和51年4月から同54年3月の間に行われた核反応データの組織化に関する研究を要約したものである。

この研究途上で作成された資料は膨大な量に達しており、その詳細をここでのべることは到底不可能であるが、今後の核データ活動のためにその研究の概要をこの報告書にまとめることにした。

研究上にもまだまだ充分でないところがあるのはいうまでもない。また今までなされてきた研究成果のうちここに収録していないものもあると思われるが、この報告書によって我々の研究の大較を伝えることができれば幸いである。なお我々の研究は昭和49年、50年の両年度にわたって行われた研究「核データファイルNRDFの開発」(特定研究「広域大量情報の高次処理」)を引き継いだものであることを付言しておく。

本研究の分担者は次の通りである。

阿 部 恭 久 (京大基研)
池 上 栄 胤 (阪大核物理センター)
大 沼 甫 (東工大理)
河 合 光 路 (九大理)
田 中 一 (北大理)
長谷川 武 夫 (東大核研)
村 岡 光 男 (阪大理)
山 田 勝 美 (早大理工研)

またシステムの開発には主として

富 樫 雅 文 (北大理)

があたった。また入力データ作成には

野 尻 多真喜 (阪大理)

が協力した。この研究のとりまとめは田中が行った。

昭和54年1月20日

田 中 一